

わけ信子

議会報告

日本共産党市議員

信達市場 116-230

tel fax 482-5505

携帯090-3943-0168

http://www.ashitanojcp.net/~wake/



後期高齢者医療

2007年12月議会
わけ信子の
一般質問

大阪は全国で最も高い保険料 (平均額101449円)

「姥捨て山」と言われる制度は中止して高齢者が

安心できる「医療制度」こそ必要

75歳以上の人を「後期高齢者」として現在の医療制度から切り離す「後期高齢者医療制度」を知った方が「戦後、焼け野原だった日本を、食べる物もがまんして復興してきた世代の私たちが国は邪魔者扱いにしようとしている。悔しい」と話されてい

行政は、大阪広域連合に「市民の意見」を反映すべき

こうした、高齢者を切り捨てる制度を「姥捨て山」と呼んだのは、元厚労省局長でした。また、厚労省の宮島俊彦氏は「当初の制度設計で5年くらいはやっていけるが、その後は財源のありかたが課題になりゆきづまる」と言っています。保険料の「年金からの天引き」など高齢者や国民の怒りが広がる中、政府は高齢者の一部の人の負担増を「凍結」と言い出さざるを得なくなっています。こうした問題点を残しながら実施しようとしています。



わけ信子市議は
①大阪広域連合の議員定数は20名で近畿地域でも人口比に對してあまりにも少ない。こうしたことから、「市民の意見を反映させる」為に議員数を増やす必要があると考える。

②大阪の保険料は、全国で一人あたりの平均額が3番目に高い101449円です。新保険料が現行の国保料を超え上がる人、現在、サラリーマンの扶養者の方への対策が必要。

③高齢障害者がどの医療制度を選んでも保険料や医療内容を低下させない為の市独自の施策が必要。

④資格証明書が発行され、病院に行けなくなる方への対策が必要。と市に求めました。

市は市町村連絡会議などの機関で合意形成を図っていく。滞納者に対して納付相談を通じて慎重に対応していく。としながらも、独自の施策はなんら示しませんでした。



くらし・子育て・年金・医療・介護・
地域のことなど、一緒に考えましょう。

何でもご相談下さい。

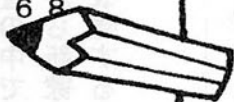
日本共産党市議員

わけ 信子

市役所 TEL 480-0001

自宅 TEL. FAX 482-5505

携帯 090-3940-0168



「後期高齢者制度」の延期も含め見直しを求める意見書

- ・広域連合の議員定数は、人口規模や高齢者数などに合わせたものに改めること。
- ・高齢者の実態に即した保険料とし、資格証明書発行や 給付差し止めを行わないこと。
- ・高齢者や国民、自治体の意見をよく聞き、来年4月からの実施については延期も含め検討を行うこと。

上記の政府への意見書は共産党議員以外の反対で否決されました。

妊婦健診の公的負担の拡充を！

市は4月から妊婦無料健診を複数回（3回）にすると答える。

母子の命と健康を守るために

経済的負担を軽減して出産・子育て支援を

晩産化やハイリスク妊婦が増えてきています。また、「貧困と格差」が広がる中「妊婦健診や出産費用がままならず困っている」との相談がふえています。

厚労省の2007年1月の通知では「妊娠中の経済不安を軽減するため最低限必要な健康診査を5回程度公費負担で実施する事が原則であると考えられる」としています。

こうした通知に基づき市は、無料健診回数をいつから増やし実施するのか、答弁を求めました。（現行は1回）（泉佐野市は3回）

市は、無料健診を2008年4月から複数回（3回）にすると答えました。



妊婦一般健診の公費負担の状況 政令市

札幌	5回
仙台	2回
さいたま	2回
千葉	2回
横浜	3回
川崎	2回
新潟	5回
静岡	2回
浜松	2回
名古屋	2回
京都	1回
大阪	2回
堺	2回
神戸	2回
広島	2回
福岡	2回
北九州	3回

*低所得者は2回

各市の妊婦健診公費負担制度

2007 3月現在		2007 3月現在	
市町村名	実施回数	市町村名	実施回数
大阪市	2回	松原市	2回
堺市	2回	大東市	1回
岸和田市	1回	和泉市	1回
豊中市	2回	箕面市	1回
池田市	1回	柏原市	1回
吹田市	1回	羽曳野市	1回
東大津市	1回	門真市	1回
高槻市	1回	摂津市	1回
貝塚市	1回	高石市	1回
守口市	1回	藤井寺市	1回
枚方市	2回	東大阪市	1回
茨木市	3回	泉南市	1回
八尾市	1回	四條畷市	1回
泉佐野市	3回	交野市	1回
豊田林市	2回	大阪狭山市	2回
寝屋川市	1回	阪南市	1回
河内長野市	2回		

大阪府保健医療協会しらべ

男女共同参画条例の制定は現在検討中となつているが、早期の制定を望みます。今後

男女共同参画事業の充実を

どのように進められるのか、また、女性のための相談事業は、女性にとって心強い味方です。

今後、啓蒙啓蒙を進める事と相談内容によつては専門部署との連携をとり解決を図ることが必要と市に求めました。市は、男女共同参画社会に向け改定プランを進め早期の条例制定に向け検討していく。相談事業の充実に向け電話相談回数について月3回から4回に増やす予定である。保健センターとの連携をとり相談内容に対応していく。と答えました。

火葬場建設問題

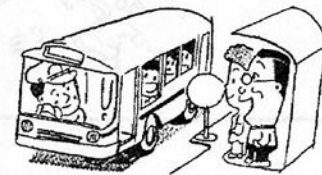
火葬場建設については市長のマネフェストにも掲げられており市民からの期待もありましたが現在では、「絵に描いた餅では困る」財政が厳しいのなら小規模でもいい、「人生の最後はきれいな火葬場で見送りたい」

人生の最後はきれいな場所で見送りたい 斎場にふさわしい心配りへの改善を

その声がたくさんあります。今後の建設計画を示す事と、火葬場は、亡くなられた大切な人を親族や生前に親しかった人びとが最後にお見送りされる場所です。「建物は古くて

市は、建設計画については、種々の問題があり現在、凍結の状態である。故人との別れを惜しむ施設として美観の確保に努め、ソフト面では、場所にふさわしい服装・態度・接遇に努めるよう指導する。と答えました。

コミュニティバス 「市民の願いが実現」 4月から新家方面回り・山方面回りなど改善される。



一昨年二月に一台増車しコースも便数も増えたが、新家方面と山方面回りのコースなどは待ち時間が長くなり逆に「不便になった改善してほしい」と利用者から要望がだされてきました。こうした意見を議会でも取り上げ改善を求めてきました。共産党議員団は2008年度の予算要望でも緊急課題にしました。市は、1年間の実績・調査の中で利用者の要望も含め、4月から新家方面・山方面回りについて改善すると回答しました。